訪問看護師の在宅看護実践力を高めるためのリカレント教育に対するニーズ調査

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 紀ノ岡, 浩美, 山本, 恵, 尾﨑, 雅子, 長尾, 厚子 メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-tokiwa.repo.nii.ac.jp/records/1183

2-P-6

訪問看護師の在宅看護実践力を高めるためのリカレント教育に対するニーズ調査

紀ノ岡 浩美[1)]
山本 恵[1)] 尾﨑 雅子[1)] 長尾 厚子[1)]

【背景】Society5.0 時代を迎え、学士課程で学んだ知識が通用しなくなる時代を迎えようとしている。また、地域包括ケアシステムの構築が推進され、訪問看護師が重要な役割を担うことを期待されている。【目的】訪問看護師の在宅看護実践力を高めるための教育ニーズを明らかにし、在宅看護実践能力を向上させる教育的アプローチへの示唆を得る【方法】一般財団法人全国訪問看護事業協会に入会している兵庫県下の訪問看護ステーションに従事する訪問看護師 178 名にアンケート調査を実施【結果】96%の訪問看護師が学修意欲が「ある」と回答した一方で、外部研修への参加率が 52%に留まった。外部研修に参加していない訪問看護師の 80%が外部研修への参加意思があった。外部研修に参加できない要因として「研修場所の遠さ」「仕事の休めなさ」「自己負担」「研修期間の長さ」「家族のサポート」が挙げられた。また、希望する研修内容として「訪問看護師に必要な知識・技術に関する内容」「倫理に関する内容」「多職種連携に関する内容」「コミュニケーション能力に関する内容」「家族看護に関する内容」「高齢者への看護に関する内容」「感染管理に関する内容」「リスクマネジメント」「ターミナルに関する内容」「法律・制度に関する内容」が挙げられた。【結論】業務や家庭に負担がかからないオンデマンド方式の遠隔研修で、自ら学びたい内容を選択できる研修方式の必要性が示唆された。

1）保健科学部看護学科